

# 菖蒲の庭から

自分の良さを見つけ、仲間と共に学び合う子どもの育成

「笑顔・あいさつ・思いやり」「勇気・挑戦・積み重ね」

小田原市立東富水小学校  
学校だより R7 2月  
第11号



2月に入り、「最強寒波」という報道どおりの寒い日々が続いていますが、子どもたちの朝夕の元気なあいさつに心も温まる毎日です。また、子どもたちは、2月下旬に計画されている「6年生送る会」等にむけた、さまざまな準備や練習に取り組んでいるところです。その様子については、次号の学校だよりやホームページ等でお知らせできればと考えています。

さて、ここからは、今年度の「未来へつながる学校づくり事業」についてご報告いたします。この事業は、小田原の子どもたちの豊かな心の育ちを願い、生涯学習の基礎・基本を培い、社会をたくましく生き抜いていく力を育てるために、「子どもの学びと育ちを地域ぐるみで支える学校づくり」を推進していくものです。そのために、東富水小学校では、次のテーマで教育活動に取り組んできました。

**学校と地域の協働 ～多様な人々との関わり、様々な経験を重ねる中で「生きぬく力」を育む～**

東富水の豊かな自然を生かし、かつ、多くの地域ボランティア、関係機関の方々のお力を借りて進める「地域一体教育」・「幼小中一体教育」を定着させていくことは、「未来へつながる学校づくり」に結びつくものと考えています。それでは、その事業の内容4点と具体的な取り組みの様子についてお知らせいたします。

## 1 確かな学力の向上



今年度から、国語科を窓口とし授業提案を中心に研究を行ってきました。5月と12月に意識調査（授業アンケート）を行い、子どもの実態把握と手立ての検証をするともに、年間を通じて、主体的に学ぶ子の姿に迫る授業づくりを考えました。

主体的に学ぶ子の育成のために、どのような手だてを考えていくことがよいか、各ブロックで話し合い、日常の授業においても生かし、講師や指導主事から助言を受けたり、先進校の視察や文献研究を進めたりしました。これまで学校教育においては、答える力を学力としてとらえている傾向が強かったのですが、問題を見つけることが本当の学力であると本校ではとらえています。問題に答えることだけではなく、問うことを教える教育を根付かせ、授業における発問の役割とは何か、子どもにとって魅力ある発問とは何かを引き続き探っていきます。



6年生 国語の研究授業  
友だちと交流し、自分の考えを広げます。

## 2 豊かな心の育成



計画委員会の子どもたちの提案で、「東っ子合い言葉を全校に広め、行動していくことで、よりよい学校にしていきたい」という思いから取り組んだイベントが、「宝さがしスタンプラリー」です。スタンプカードには、「笑顔 あいさつ 思いやり」「勇気 挑戦 積み重ね」という東富水小学校の合い言葉とともにその具体的な行動が以下のよ

うに書かれていました。「一日明るくすごす」「笑顔で友達と話す」「他学年に話しかける」「苦手なことを自分で決めて〇〇に挑戦する」などです。子どもが企画し、子ども同士が関わる取り組みは、豊かな心の育ちにつながると考えています。2月現在、第2弾が進行中です。

### 3 健康教育の推進



子どもたちが心も体も健康で学校生活を過ごすために、そして、健康に成長するためにどんなことに気を付けたらよいか、どんなことができるかをクラスみんなで考える時間を学校保健委員会の取り組みをとおして設けました。

今年度は「あそびはたのしい!きもちいい!!」をテーマに体を動かす遊びと健康との関わりについて、アンケートや保健委員会の子どもたちが作った動画をもとに各教室で話し合いを行いました。学級ごとに目標を決めて、それを意識しながら「あそび」に取り組んでいる姿がたくさん見られました。

### 4 多様な人々との交流



東富水幼稚園、富水幼稚園を小学校に招待し、交流を行いました。5年生は、学校写真オリエンタリングと小学校の学習紹介をしました。初めはとても緊張した挨拶でしたが、少しずつ慣れ、和気あいあいとした時間が過ぎていきました。また、1日の学校生活をビデオ化して紹介した後、体育館での遊びも行いました。園児さんも5年生ももっと一緒に活動したい様子でしたが、ハイタッチをしてお別れしていました。4月に、6年生として1年生になる園児さんとまた会えることを楽しみにしながら、最高学年に向けて成長していきたいという気持ちがあふれていました。



宝探しスタンプラリー!  
人と関わる経験を大切にしよう!



学校保健委員会  
遊びと健康との関係について考えます!

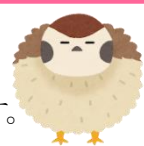


幼稚園児さんとの交流  
相手のことを考えた活動に!

今年度も様々な場面でスクールボランティア(学習ボランティア・生け花ボランティア・防犯パトロールなど)に協力いただき、より充実した教育活動となった。ボランティアの方々のおかげにより学びの幅が広がるとともに、人と関わる機会が増え「ありがとう」とおしたつながりをもつことができました。

今後も「学校と地域の協働」をめざして、多様な人々との関わりを大切にしていくとともに、様々な経験を積み重ねていく実践を行っていきたいと考えています。

### 学校付近での駐停車について



先日、さくら連絡網でご連絡してから駐停車が減りました。ご協力ありがとうございます。

繰り返になりますが、学校付近での駐停車は、グリーンベルトを歩けなくなる、横断歩道からの見通しが悪くなるなど子どもたちの通行の妨げになり、大変危険です。引き続き、特に、雨の日、また、校門や横断歩道での駐停車はご遠慮ください。よろしくお願いいたします。